

Title: 『ME YA THE WORLD』



宮澤 笑美
1984年8月27日生まれ☆沢山寝て沢山食べます！A型だけど片付けとかは上手くできません。ハウスタアレルギーだけ埃とかよく見えないです。

● 最近のエントリー

- ☞ [IN TOKYO](#)
(2006.07.30)
- ☞ [ナガルコット撮影2日目](#)
(2006.07.24)
- ☞ [ナガルコット写真 撮影一日目](#)
(2006.07.13)
- ☞ [へーるすぼすと！写真展★](#)
(2006.07.08)

● アーカイブ

- ☞ [April 2009](#)
- ☞ [November 2008](#)
- ☞ [May 2007](#)
- ☞ [March 2007](#)
- ☞ [December 2006](#)
- ☞ [November 2006](#)
- ☞ [September 2006](#)
- ☞ [August 2006](#)
- ☞ [July 2006](#)
- ☞ [June 2006](#)
- ☞ [May 2006](#)
- ☞ [April 2006](#)
- ☞ [March 2006](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

ME YA THE WORLD > July 2006 アーカイブ

06.07.30

IN TOKYO

[Tweet](#)

[Check](#)

私は今、実は、ここだけの話。
日本に居たりする。
日本というのは、この日本語というのが公用語の国で、私が生まれた国で、富士山っていう山が有名で、東京が首都であり、そこには東京タワーっていう名物もあるっていう・・・そこまで言ったらきつと
誰も、疑わず、ああ。あの日本か。ってわかってもらおうと思うのだけど・・・。
その日本に帰ってきているわけなのです。
理由というのもある、それは祖母が亡くなった。ということなのですが。
それはもう、3週間前のこと。
中国・成都到着後、五十嵐先生始め、クラスみんなのあったかい理解と協力のもと急遽飛んで帰ってきました。
そして、中国北京に集合の8月4日に中国に再入国予定です。



日本で書くブログというの何か書きたいことが沢山あるのだけど、それは一カ月後の本帰国で書くのがフェアな気がする。

だけど、やっぱり、4ヶ月のアジアの旅を経てから過ごす東京生活？に戸惑いは、ある。



まだ見たことのないことや、感じたことのないもの、やったことのないことをしていく時の方が時間はかかるが体力はそんなに要らない。
悩んだり、考えたりする時間は物凄く必要になるけれど、その場その一瞬、そのことだけに夢中になってやっていたら慣れることが多いから。

私の場合、その出来事の「アフターケア」の方がひどく、時間がかかり、体力も使う。と思う。
日本に居る今、今まで何ヶ月と旅した時に比べたら精神面でも、体力でも、食事でも何もかも過ごしやすい。

本当に、
過ごしやすいのだ。
だからこそ、今までのことが全て夢のように感じてしまう。
今の私の環境も何週間前の私の環境どれも現実なのだけれど私だけついていけないのだ。
過ごしやすい。だけど、何か大きな恋れ物をしている気分になる。

私が言う「アフターケア」というのは「自分を繋げる」ことだと思っている。
アメリカに一年間留学して帰ってきた時もそうだった。
ガムシャラに英語で暮らして、ホストファミリーと暮らして、学校へ通って、辛い時がほとんどだった。
帰国した私はその、一年間 辛い：楽しい比率のバランスを取り戻そうと一ヶ月間楽しいことばかりしようと思っただけ。
そのときも、アメリカの私と帰国した私を繋げることが出来なかったからだ。
繋げるというのは、きっと「実感」することだと思う。
私がおもてなしをしたこと、感じたこと、見たものを冷静に思い返すことができるか。
そして、それを通して次に、私はどうしたいのか。
それを通して、というのが大事な部分で、体験を実感できていない今にはとても難しい。
だからといってそれをどうするのか。それがわからないのだ。
ただ、ぼんやりとして、旅する前の自分の生活をしてみている。
それじゃ。ダメかも。
わかっていても、他のやり方がわからないから、自分に一番良い方法だとそれをする。
他の人にとってはもっと簡単なことなのかもしれない。
もしくは、もう、旅の途中で次にどうしたいか。を明確にわかっているかもしれない。
バット、ノットフォーミー。

ちなみに、アメリカでの自分と今の自分は完全に繋がっている。
だからこそ、この学校に入り、このコースに入り、この、旅をしている。
そして、その旅先でその経験は大いに役立ち、考えることを増やした。
ついでにクラスのみならず「アメリカキャラ」と呼ばれるまでに行き着いている。えっへん
(偉くない)
まあ、そこは「大食い」とか「アメリカンフード好き」とか「リアクション」由来なのですが。
だけど、その次、そのまた次、そして今のその次も、更なる進む一歩を踏み出さなければ結局、完全に活かしてはいないんだなって思う。
そして今、特別岐路にたたさされているわけです。
急な帰国。これは私にどんな意味を与えているのだろうか。
おばあちゃんが亡くなり、迷ったけれど帰国。
そしてこんなふうな考え込んでる今。
8月4日の北京集合日までに私はどうなっているのか！
一度日本を見直しなさいといわれているような気もする
それとも、もっと冷静に自分を見ろといわれているのか。
なにか、何かがあるような気がしてならない。
ただの考えすぎなのではとも思うけれども・・・。
本格的なアフターケアではないのだけど、プチ・アフターケアに戸惑う宮澤が此処に居ります。
だから、みんなに恨まれるくらい日本食を食べて太りました。(報告)

日本は本当に暮らしやすい。
それがわかるだけでも、ありがたみを感じられる。
日本は本当にきれいだ。
東京は本当に大きな都市だ。
東京は本当に働き者が多い。
東京は本当に夜が明るい。
アメリカから帰ってきた時と目線が違う。
そのときは
日本はコジマリとしていて、天井が低くて、みんな顔は無表情で一緒の顔（それは今回も思うけど）
看板が多くて、街は汚くて、忙しいところだ。だけどやっぱり過ごしやすい。って思った。

生まれ育ったからゆえのありがたみを感じたものの
環境自体のありがたみ、もしくは、便利さ、物の多さを考えたことはなかった。
変に外国カブレにはなりたくない。(こんだけ言っただけでアレだけ)ちゃんと見たい。
変にプレッシャーになることはないと思うけれど、私はそうしたい。
そして、もう一度「戻る」ということができる私なりに、またアジアに飛び出したい。
・・・余談ですが、私は帰国から今までの三週間と4ヶ月のアジア生活とでファッションが全く変わっていない。
何故なら私のお洋服はオシレイという未開の地に隠された。だから結局バックパックの中から服を取り出す。おかげで久しぶりに会う人会う人に

「あ〜。
雰囲気出てるね！」
みたいなことを言われる。
そこは思い切って「イエス！」と言ってみる。
だけど、もう、なんか、やっぱ、
着る服って
案が一番だ〜。なんて20代の女子が思っちゃってる時点で雰囲気は出ちゃうんだろうなって思う。
タイパンツにタンクトップあんどシャツ。そして擦り切れたビーサン。
コンプレックス知らずのこの格好は東京人にはなんと思われているのか我が国ながら不安が募る。
だけど、ありがたいことに本帰国は9月の中旬。もう少し頑張れば寒くなりこの格好では居られなくなるだろう。そう、それがいい。クラスのみならずのためにも、それがいい。サンダルで歩けない季節になればいい。フィールドワークコースが目立たなければいい。(切実
では、話はズレましたが、再入国までもう一度くらいは更新できたらと思います。

カテゴリ:

post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.07.30 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#)

ME YA THE WORLD > July 2006 アーカイブ

06.07.24

ナガルコット撮影2日目

[Tweet](#)

[Check](#)

え。あんさん。まだアンサン、ナガルコットにでもいんのかい？！
なーんてなんて。言わないでっ☆
そうこれでファイナル！ナガルコット写真展がらみ！（語呂が悪い
二日目の撮影。は前日と変わらずの3人。ウメちゃん、今回はなんとイヤイヤかと思いきや
ノートブック持参！（笑）日本語を覚えたくてしょうがない！（笑）
じゃあー！参りましょうか！
じゃあ、行っちゃいましょうか！え？！
また急なガケとが行っちゃうのかナ？だって私たちは
ナガルコットショットレッキング撮影し隙！



こういう道？を下り上りを繰り返す・・・ってソレ！やっぱりトレッキングじゃん！







旅のお供。最初に訪れた村からずっとついてきてるワンコウ。

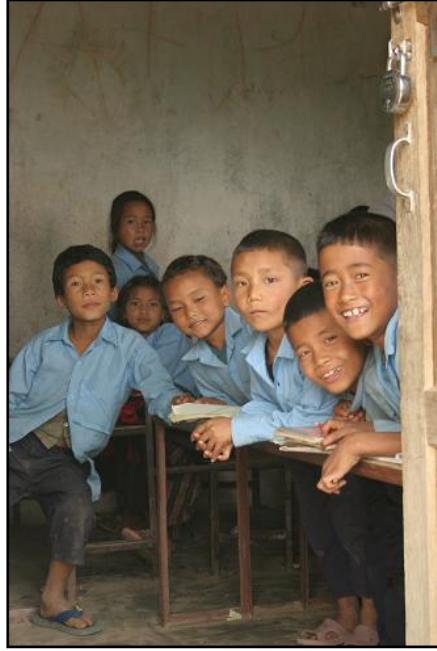


小学校を目指し、「まだか。まだか。」としていたとき。
お！道路にこんなものが！！





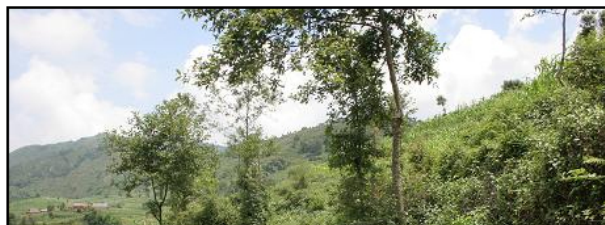
ほらやっぱり。





とにかく、小学校は本当に「お邪魔」した。
みんなうつりたくってうつりたくって。授業そっちのけ。
だけどよく見たらみーんな低学年だった。教室を見れば高学年の子は窓からのぞいてるだけ。
お年頃なのがよくわかる。
先生総動員で集合写真完成！
またもや、ウメちゃんのお手柄です。ウメちゃんが私たちのこと全て話してくれたのです。
そして、その次の目的地。田植えの場所も聞いてくれた。
そう、これがウメちゃん流☆
次の目的場所をどんどん聞いていくという。ジモッティーならではの技で私たちの撮影地は決ま
っていったのです。

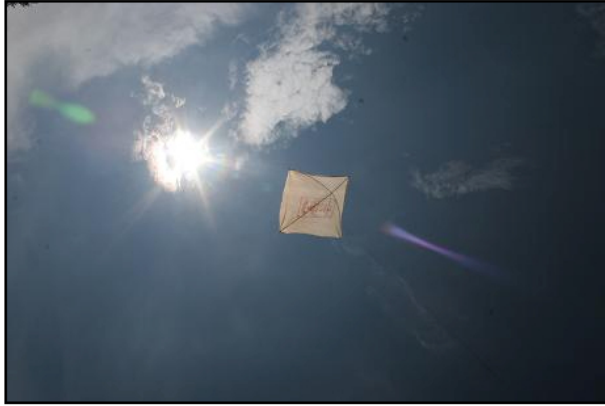
まだまだ一緒だよ。





あんた、まだ居るのー。といいつつ少しうれしく、
居なくなると呼んでしまう。
そして、この作品。
「夏休みの犬と少年。」少年って、彼、成人式終えてるけど。。







ハアハアハアハア・・・あまりにも、あまりにもだよ。
最後のスパーク。駆け上がる。
犬はいつのまにか居ない。やっぱりあそこの村の犬だったのか。
趣味にしても、よくも知りもしない外人の後おっかけまわして、いちいち、うちの撮影の邪魔をして（いちいち撮るものに入ってきた。）過酷な山道を共に歩いて、休むときも一緒に休んでって、どんな物好きですか。そして何も言わず姿を消す。
何なに。なんだったの本当。かわいかったけど。
小学校も遠かったけどそれよりも遠い田植え場所。
徳田君と二人で
「誰がわかってくれるの?!コレ!このこんな感じ!!」
谷を見渡し、その谷を渡り歩き、犬と僕。
トモロコシ畑を何回もくぐって、地元の小学生に歓迎されて、田んぼに入って壊れたピーサンを地元の子供に草を使って直してもらって、でっかい昆虫見つけて・・・
ナニヤッテンダ!ウチラ!って話です。
ウメちゃんも疲れたらうに。
ありがとうウメちゃん。凄く楽しかったよ。ウメちゃん。
そして、
雲海リゾートの皆様。本当にありがとうございましたああああ!



もう、ほとんど、私たちが撮って、雲海リゾートさんが写真展を開いてくれたといっても過言ではない。
本当に。
素敵な人から。素敵なホテル。必ずもう一度。とは言わずに何度でも行きたい。
ナガルコットってどこよ?!遠っ!カトマンズよりも更に遠いの?!って所なのに身近に感じられる
そんな場所。
本当に素敵でした。最後の最後に涙のお別れをして、バス停まで抜けるまで知り合いばかりの状況。
「あー!あのオバちゃん!」「あー!あの人だよ!」と
手を振り合ってナガルコートを後にしました。
には庭ロッジでは、来年もやらないか。と申し出もあるほどに。
高田さん本当にご協力ありがとうございました。
写真展班全員、素敵な思い出と経験をすることができました。
この場をお借りして、改めてお礼申し上げます。

カテゴリ:

post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.07.24 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

ME YA THE WORLD > July 2006 アーカイブ

06.07.13

ナガルコット写真 撮影一日目§

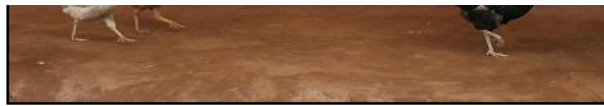
[Tweet](#)

[Check](#)

撮影一日目

私とけーちゃん（徳田君）はウメちゃんにガイドをしてもらい雲海リゾートの下の村に向かった。
ウメちゃんは雲海リゾートにやってきたばかりの若者で、お手伝いをしているそうだ。
ウメちゃんは最初、無口で、えっ!私達嫌い?!と思わせる風だったが
ただのシャイなヤツ★だった。
ウメちゃんに連れられて山を下る下る。
これはもしや、軽くトレッキングの世界に足を踏み入れているのわ・・・。
そんな予感がしていた。
では、これから先は ME YA THE WORLD プレゼン!
No 写真展 IN ナガルコット withoutトレッキング!









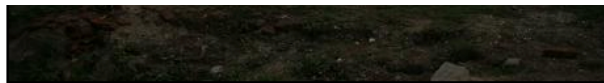












私は、みんなより遅れて撮影に入った。
だから一日目は気合を入れた。
当初少ないと言われていた動物の写真を撮ろうと思ってたら
色んな人に出会った。だから、ポートレートを撮ってしまった。
「フォト キチュエ ファンチャ？」
「ふんちゃあ」
「写真を撮ってもいいですか？」
「いいですよ。」
「ダンニャバート」
これの繰り返し。
色んな色んな人に出会った。
笑っていたり、不審がったり、悲しそうだったり、それぞれの
暮らしの中に私達が突然入り込んだ。
それに対する答えは色々で、私達も色々思った。
作文ではその「色々」を明らかに書きなさい。
って怒られるけれど、これはブログなので、しかも、写真展なので
特に書かない。
ってのはどうでしょう。

途中でゆうちゃんこんちゃんに会おう。
ゆうちゃんの撮影も順調そうだ。



一日目が暮れていく。
撮影日が減っていく。



post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.07.13 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#)

カテゴリ:

ME YA THE WORLD > July 2006 アーカイブ

06.07.08

へーるすぽすと！写真展★

[Tweet](#)

[Check](#)

最終日はヘルスポスト写真展！
紺ちゃんゆうちゃんが撮影しに行った先の村のお医者さんの場所です。
前々日にみんなの顔を見たいという、お医者さんに向向いてもらい、打ち合わせ。
そして、10時から2時までのミニ写真展インホスピタル！が決定したのでした。

10時に合わせて私たちは山を下る。。。
いやいやいや、
下りますね。ずいぶんと。
ずいぶんとくだりますね。がけ。ではないんですけどね。
足場はついてますから。。。
だけどそれにしても急ではございませんか？
ととととととテンポ良く
谷に向かう。
やっと見えてきた！
先生と挨拶。
だけど先生はとっても忙しそう。
写真を貼る場所は外の壁。
みんなでせせと貼り始める。
やっぱり、早くも子供たちはその場において、
お手伝いさんも居た。
そこでドクターが中から出てきて私を呼んでる。
中に入ってみればそこは治療室のようだ。
写真を撮らないかと言っている。
私はうなずいて、その部屋に入る。
そこには、頭を抱えている青年が居た。
どうやらどこからか落ちて頭に怪我をしたようだ。
ドクターはそれを消毒をしている。
私は、写真を撮れといわれたものだから、撮ってみる。
だけど、患者さんからしてみれば、なぜ、外人に自分の頭割れてるところを撮られるんだ。
って感じだろうなあ。。。と思いつつ、カメラで追っていく。
注射で麻酔を打ち、ぎゃっ！！
細い針金で縫いでした！！
あいや！先生ー！そんな、いきなりですかー。
だけど、まあ、縫うってそんなもんかなって。そんな気もした（謎
青年は、ひたすら我慢をしていた。
私はどうすれば。ってカメラを持ってるわけで、
先生がなぜ、私に撮れと言ったのかと考えれば
撮っておこう。と思い、カメラを向けた。
「You can help me」
と促されて棚に行く。
棚に入ってる包帯を出して欲しいそうだった。
先生に手渡し、またひたすら治療を見る。

いっつも思うけど、
やっぱり、病院の人たちは、包帯を惜しみなく使うなあ。って思う。
グルグルくるくるくるくるくるくる。。
いっばい巻く。



このヘルスポストはドイツのNGOの支援で建てられたものだそうだ。
患者はみんならルピーを払えば診察してもらい、薬も治療もしてもらえる。
ああ、そうか。
使わなきゃ意味ないものね。
それにしても、惜しみなく使うってさすが、お医者さんなのだなって思った。
だって、物資は限られているはずだ。もし、私なら、少しごまかし、ごまかし、節約してしまう
かもわからない。



患者さんは外のベンチに座って順番を待ち、
次の患者さんが終われば、次。
とどんどんやってきた。
風邪気味の人や、子供を連れてお母さん。

ドクターはらルピーの領収書を書き、診断をして、薬を渡す。
それが何回か繰り返された。
お医者さんはすごい。
いっつも思う。
最近では、マザーズハウスのカーリガートで改めて思っていた。
それは、今度に回ってしまうけれど。
手に職。ってカメラマンにも使えた言葉だけれど、
そういうもんじゃない。って思う。
何人居ても、病気の人を、怪我の人を、助けられるのはお医者さんだけ。
村にお医者さん一人居るだけ。
村の病人もけが人もそれだけで減る。
うまく、伝えられないのだけれど、
ため息が出るほどにお医者さんの凄さを相変わらず思い知る。
だからマザーズハウスで出会った医学部のみんなも、
2日しか一緒に居れなく、なんともあつかましいけれど、
みんなと出会えて私も誇りに思う。
その知識を持ち、お医者さんになろうっていうみんなは本当に凄いと思う。
いやいや、
これについてはまた、書くけれど！

ドクターの診察が終わった。
写真展もなかなかみんな見てくれていた。
私はドクターと話した。
ドクターは、この、ながることの現状を冷静に見ていた。
ネパールの田舎はまだ、医療施設は少なく、
何よりも住民達は信仰深く、病氣や怪我になっても
まず、初めはシャーマン・霊能力者に行くという。
ドクターはそうやってうちにどんだん病状あるいは怪我が悪化していき
手遅れになってしまうんだ。って嘆いてた。
簡単なものでも病院が無いため、都市まで行かないといけない。
だけど、この病院があったとしても、ドクターは彼一人で
時間外勤務もまれにある。
とにかく、ドクターは伝えたいことが沢山私にあった為につたない英語で
私にずっと話しかけていた。
ドクターは何度も
「アイデア」という言葉を使った。
沢山の外国の訪問者と話を「新しいアイデア」を手に入れたって言っていた。
だから熱心に、私にもこんなに話しているのか。って思うと。
なんか良いことは思いつかないかと焦った。
だけどそんなにすぐに出るわけもなく、ドクターの話聞くことを先に勧めた。
始まりが、ドイツの訪問者の一人からスタートしたこの病院のドクターだから
よけいにそう思うのだろう。「変化」を求めている。
ドクター一人の力じゃ限界がある。それもわかる。
私達に何が出来る。
いつもの疑問。
だから撮るんだってば。写真展だってば。ブログだってば。
なんだって方法があるんだってば。
私達が望んで、実行すれば、できることはある。
流石に病人、怪我人は治せない。だからお医者さん・看護婦さんを尊敬する。

だけど、ドクターに出来なくて私達に出来ることはあるのです。きっと。
それをドクターも知ってるこの写真展なのだろう。
第一歩。
その写真展はやっぱり成功したと思う。
写真がなんと。
今手元に無い状態。・・今度追記します。
2日間とは全く違った形になったけど、これはこれで、大成功だと思ってる。
子供たちに折り紙を教えて、お昼をご馳走になって
午後2時。
疲れもピークになりつつヘルスポスト写真展は終了。
その後の帰り道はひどくきつかったのは事実。

カテゴリ：

post by 宮澤 英美 | 日時: 2006.07.08 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

ME YA THE WORLD > July 2006 アーカイブ

06.07.07

速報ネパール写真展☆とうとうにば庭口ジッた！の巻

[Tweet](#)

[Check](#)

それでは、二日目に参りましょうー！

その日は、五十嵐先生も「雲海リゾート」に泊まり、エベレスト達の朝日を撮ろうと意気込む日。

そんな一。無奈だよー。だって、今は雨季だよー。

私たち、ずっとここに居るのに、見れてないんだよー。あんまり。

ところがどっこい！



ぎゃー！まぶしい！！

雲が晴れ渡り、涼しい風。まるで、運動会だー！秋晴れだー！ってゆうのに似てた。

五十嵐先生は前日に雲海リゾートの眺めを見て

「いやー！すごい良い景色だねえ！！これだったらてるてる坊主500個ぐらゐ作りたいよ！！」って鼻息荒めに言ってた。

本気で作っていきそう。





ってことで、二日目は、予定通り、「には庭ロッジ」をお借りしての写真展！！

には庭ロッジの皆さんに手伝ってもらってる様子。



ここでは、企画通り！その場でプリントお渡し大会を实行。



前日にバス停ジャック。

翌日のこの場所での開催もばっちり予告宣伝できたものだから、そいでもって撮った写真を翌日の朝10時にあげるなんて約束したものだから。

当日は、朝9時4分。

予定開催時刻4分後には、子供たち、村の人たちがどんどんきはじめた！！



芳名帳も大活躍！！



たぐりん、なんか、なんか、何。(笑) 子供たちにかこまれーる。



見よ！！この宣伝力！！ってゆうか、英語版ビラがやたらあまったので利用してみた(笑)



には庭ロッジです☆





撮影した小学校のみんなが社会科見学みたいに来てくれたー！！！！
まじ感動でした！先生が、みんなを連れて、先生たちもぞろぞろ！！



まだまだ誰も帰りません。



牛乳運び屋さんも、呼びかけたら止まって見に来てくれたー！
「ナマステー！スワガタンー！」「ハロー！ウエルカム！プリーズカムトゥシー！」



みんな本当によく来てくれた。
本当にうれしかった。
ポートレートもまたたくさん撮った。
プリンターもフル活動だった。
みんな写真が欲しくてたまらなかった。
子供から大人まで我先に！と写真の取り合いっこ。
ホテルの中に入ろうか迷ってる人も一声かければ
入って、写真をもらえば本当にうれしそうな顔をした。
プリンター係りと撮影係、呼びかけ係に分かれて10時間フル活動だった。
みんなおつかれさま。
2日目に来てくれたクラスのみんなありがとう。
前日、バスストップにたまたま現れたドイツ人の女性も2日連続来てくれた。
ネパールに3ヶ月滞在し、病院でボランティアをしているらしく、
ナガルコットには観光で一泊で来ていた。そこでたまたま私たちのバス停写真展に出くわし、
2日目も来てくれるって約束してくれたのだった。
本当に来てくれるなんて、なんてなんて・・・ありがとー！っていうしかない。

もう一人、とてもうれしいゲストが。
私が、マザーハウスで知り合った、ネパール・ジャイカの気賀沢さんという方だ。
一日しかボランティアで一緒にならなかったのだけど、
少し、お話をし、私がネパールに行くという話になり、気賀沢さんは、その際は
連絡くださいと名刺をくださった。
私はカトマンズに買出しに来た際に気賀沢さんに写真展のお誘いを出したものの
やりっぱなしで、ネット環境の無いナガルコットに山ごもりしてしまっていた。
呼びかけをしていた時に、車がざっと止まった。
「え。誰だろう。このグイグイびーな感じは・・・」
出てこられたのは・・・
「わああああ！！ご無沙汰しております！！！！」
わざわざわざわざ、このような場所に！！
感動でした。
まさかまさか、カトマンズ付近での開催ならともかく、ナガルコット山に
いらしてくれるなんて・・・。思ってもみなかった（誘いを送ってひどい
気賀沢さんは、私たちの活動に非常に興味を持ってくださった。
ゆっくりと写真を見てくださり、現地の人たちともネパリでトーク。
やはり、気賀沢さんの周りには知らぬうちに子供たちが集まっていた。
私は、この旅をして、切に感じるのは、
子供を寄せ付ける雰囲気のある人。がアジアに暮らす日本人には多いということ。
っていうより、アジアでボランティアをしている日本の方は必ずそのオーラがある。
これは確実。私たちみんな感じている。
何も言わなかったって集まってくるあの雰囲気は非常に不思議。
気賀沢さんにも勿論芳名帳にお名前をいただいた。
本当に、ありがとうございました！この場をお借りして改めてお礼申し上げます！
とてもうれしかったです。

そして、高田さんが現れる。
またまたお忙しい中！！ありがとうございます！！
本当に、本当に、本当に、高田さんのおかげで出来たこの写真展です！！
とみんな深々お礼アゲイン。
だって、本当に、本当に。そうだから。
このナガルコットでやれるのも、にば庭ロッジでやれるのも、プリンターを使って、
思う存分プリント出来るのも、全て全て高田さんのおかげなのですから。
高田さんも、写真展の様子を見て、一安心といった様子。
写真もじっくり見てくださり、商工会部で使いたいとまで申し出てくださいました！
ありがとーございます！！
だけど、私たち、みんな、たくさんの方来ていただきながら、
いー（何だかんだでも）

ンセツァイー（現地の人たち）の押しにまげ、
あまり、気質沢さんとも高田さんともゆっくりお話ができなかった。
忙しいことは良いことだけど、本当に。
目が回るってのはどうかと。
だけど、素敵素敵。大満足な写真展だったことは間違いない。
どんなにみんなが死にかけようと・・・。
翌日には、ロングランが決まっていた・・・。

そう、そうなのです。
今度は紺ちゃんが撮影に行った先の村のお医者さんに
うちの病院でやって欲しい！という言葉をいただいていたのです。
なもので、翌日は谷の村のお医者さんでネパール写真展ロングラン決定！！
あーざいます！（ありがとうございます）
ひひひい言いながら明日に続く。

カテゴリ：

post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.07.07 | [パーマリンク](#) | [コメント\(3\)](#)

ME YA THE WORLD > July 2006 アーカイブ

速報☆ネパール写真展☆バス停ジャックの巻

[Tweet](#)

[Check](#)

撮影の中身よりお先に
結果をお伝えしたいと思います。
まずは一日目のバスジャック写真展（とその準備）の様子をどうぞ☆

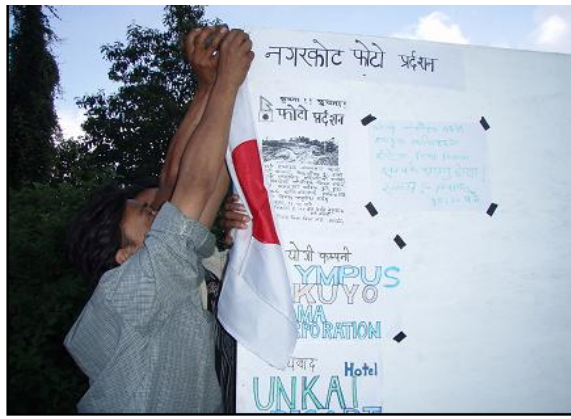
高田さん（ハザマコーポレーションさん）から貸していただいたプリンター！！
なんて立派なものを！！と感動の嵐。



KOKUYOさんから提供していただいたインクジェット印画紙を使わせていただきました。



バス停のみんなも写真展会場作りを手伝ってくれた。



バス停なもんだから車とおりも人通りも激しいの。(ナガルコットにしては)





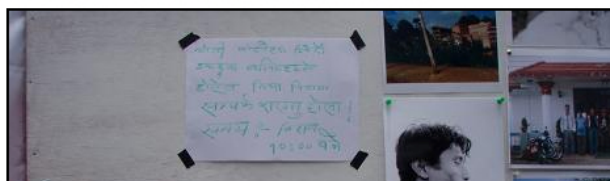
写真展の中身一



当初予定通りの両国の国旗有り！



この方々がサポートしてくださなければ実現しなかったこの写真展。





路上でも、来てくれた人たちの写真を撮る企画はそのままに。
 そりゃもう、殺到の嵐。
 みんな写真が好きなんだなあ！って実感。



来てくれた方たちのポートレートは果てしないのでこれまでに。
 とにかく、路上写真展は大成功と言えたものでした。
 心配なのは、用紙とインクの残量のみ！(笑
 第一日目だったので、こんなにも大盛況だとは、本当に夢にも思わず、嬉しい限り。
 五十嵐先生、カメラのふくみさん、ありがとうございました。

エドム元玉、ソノヘツのんも木くく、のりかこつ！！
残念ながら午後3時には雨が降ってもらい引き上げなければいけなかったのですが、むしろ、そのくらいがちょうど良いほどでした。(笑)
そして、翌日はいいよ、
「には庭ロッジ」での写真展！
それはまた明日更新いたします！
とりあえず、本日は就寝。
どろん

カテゴリ：

post by 宮澤 英美 | 日時: 2006.07.07 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

ME YA THE WORLD > July 2006 アーカイブ

ネパール写真展☆まだ準備の巻

[Tweet](#)

[Check](#)

そういった訳で、
「には庭ロッジ」に突撃！！
おおっと！
なんと！未だに高田さんとは連絡が取れていなかったー！のに突撃って！
だけど、時間が無い。行くしかない！
突撃った。
「ナマステー・・・」
いきなり現れた私達。
「・・・」
・・・何、
何から話せばいいんだ。
とりあえず、英語で。
私達は学生だと。写真展を開きたいと。
そんなお話はミスター高田から聞いていますか？
マネージャーらしき人に話しかける。
「・・・NO・・・」
「・・・え！！」
WAO!
わーわーわー！
こりゃあーてえへんだ！！
「Is there anyone speaks Japanese?」
「・・・NO・・・」
えーえーえー！
「Actually, our owner is Japanese but, she is not here now, She is in Japan now」
ぎやーぎやーぎやー！
たーかーだーさーん！
高田さんは調度その時、お仕事の関係でカトマンズから離れており、
更に連絡がとりにくい状態にあったそうです。
とにかく。今できることは、少しでも「には庭」の人に
私達の存在と、したい事を伝えなければとたどたどしい英語でトライ。
とにかく、高田さんに連絡を取りたいということ、もう一人の「には庭」
のネパール人のオーナーさんにこのお話をしていただけないかと
頼んで、その日は帰ることにした。
その夜、もう一度、マネージャーさん・ミスターデンドラさんにお電話したところ、
オーナーさんから許可をいただけたとのこと。
とにかく、ナガルコットに拠点を移すことに。
翌日からはメンバー全員でナガルコットに移住開始！
「には庭ロッジ」は素敵な場所だった。
だけど
だけど！
私達学生バックパッカーは8泊も泊まれない・・・(涙)
必殺！歩き方検索！
見つけた先は「には庭ロッジ」の近く。
「雲海リゾート」という場所。
価格がお手ごろで、日本人女性とネパール男性の夫婦で経営しているホテルに向けて
チャーターしたマイクロバスで向かった。
いやー。
何度来てもいいところよね。
雲海リゾート到着。いきなり現れる6人の大荷物軍団。
にもかかわらず、オーナーのタミさんは歓迎してくださった。
ここもまた、
なんて素敵な場所なんだ！！景色は絶景。お部屋はかわいい！
私達は、節約のため、15ドルの部屋を三人で共有。つまり、一泊5ドル。
いかん！安すぎですよ！！
滞在決定。
その後、「には庭」でもう一度、私達の紹介から、写真展の主旨や、方法などを、
ミスターデンドラさんにお話した。ここで、非常に困ったのがやはり言葉だった。
今まで、このように英語を使う機会がなかった私は、どういふ言い回しをすればよいのか、
何から伝えればいいのか、専門的な用語等等、全てにおいて、困り果てた。
なんとか、伝わりはしたけれど、これではまともに交渉も、制約もできやしない。
もう少し、そんな力をつけたいと思った今日昨日。
そして、何より、私達に非常に足りなかったこと、教訓ができた。
ちゃんと事前に連絡ができず、詳細が何も決まっていないうち、
行き当たりばったりは
非常にイカン！
てことだった。
確かに、企画書は作った。イメージもあった。
だけど全てはわからない、決められない。行った場所で見ながら
決めよう。
なんていう考えで行ったもんだから、一日目は非常に失礼な状態で終わってしまったのだ。
ミスターデンドラさんに「どのように？」
「何が必要なんですか？」当たり前のことを質問されているだけに私達は
なかなか、答えられず、とにかく、また明日来る。
といった答えしかできなかった。

今度はしっかり、ちゃん、とりあえずは数字もしくは、こと細やかにしておくべきだと思っ
た。
でも、やってみなきゃなんたってわからないってのも事実。
その経験を重ねられて非常に良かったと思ってる

しごくほかに集めてくれる市に送られたらいい。

次の機会があったならばきっと、少しはまともに話せるだろう。

そして、

「には庭ロッジ」の一階ガラス張りの大広間を借りることにした。

「には庭」さんともお話がついたので翌日は2つの班に分かれた。

カトマンス班

カトマンスにくだり、学校からの荷物を受け取り、買出し、メールが主なお仕事。(ナガルコットはネット環境が非常に悪いので)

バクタブル班

ボード作成。バクタブルにくだり、ボード材料買出し・作成。そして、撮影！日にちが無い！

私はカトマンス班だった。

まずは、ホテルに学校から送っていただいた荷物を取りに。

荷物は、先生方のお気遣いの下、たくさん大事なものを送っていただいた。

芳名帳、学校のパンフ、ネームプレート、、その他もろもろ、私達では気づかないものがたくさんあった。

そしてなんとといってもKOKUYOさんのインクジェット印画紙！

大量だ――！！

サイズも揃いに揃い、数もたくさん。ありがとうございます！！

それを受け取った後は、必要なものの買出し。のりやらペンやら、揃え、ネットカフェでメールチェック。

そこで、高田さんからメールが！！

お待ちしておりました――！！

高田さんと翌日お会いできることに！！

ナガルコットへは3時間。夕方に帰れば、あちらにつくころは夜道も夜道。

危険でことでカトマンス一泊決定。

翌日朝一でゆまちゃん、けーちゃんは帰り、ペンを買ってナガルコットで撮影。

私は残り、高田さんとお話をする。

ということになった。

翌日。高田さんとお会いし、今までのこと、お世話になりますということをお話した。

高田さんは午前中にカトマンスにお仕事から帰られて、そのままお話をしに来てくださった。

本当にお忙しい中、いらしていただき、私達の時間に合わせていただいて

プリンターもその日に一緒に「雲海リゾート」まで届けてくださることに。

あたしも一緒に乗っかって、ナガルコットに向かった。

そんな中、一つだけ変わったことがあった。

2日間「には庭ロッジ」で開催の写真展を一日をバス停でやってはどうか。

というもの。

それは、田栗君が撮影をしている中で、知り合った人が薦めてくれたのこと。

それはなかなかグッドアイデア！

それで話を進めようってことに一致。

高田さんも良い考えだと言ってくれました。

「雲海リゾート」につく前に「には庭ロッジ」に寄り、高田さん直々に私達の件を話してくださいました。

高田さんの英語は私があこがれているそのものの英語だった！

そうか！こんな風にいうの？！進めるの！すごい！！

とても勉強になったのでした。

そして「雲海リゾート」に着けば、みんなペンキだらけになってお出迎え。(笑

「雲海リゾート」さんの小屋を借りてボードをせっせと作ってた。

そしてプリンターを見ておどろく。

「ありがとうございます――！！」

みんな深くお礼。

そして一緒にご飯を食べ。

高田さんは帰られた。

これで、プリンターはある。

あとは撮影だけだ。

翌日から

撮影の嵐が始まった。

それは後日。写真多めでお伝えしたい。

カテゴリ：

post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.07.07 | [パーマリンク](#) | [コメント \(3\)](#)

ME YA THE WORLD > July 2006 アーカイブ

速報☆ネパール写真展☆準備の巻

[Tweet](#)

[Check](#)

ってなわけで、もう、すっかり中国にご到着なわけでございます。
ながることでも鍛えたはずが、やはり高山病は否めない今日ごろごろ。
そんなわけで、インドもろくに更新できていないのですが、熱が冷める前の
PHOTO EXHIBITION IN NAGRKOT, NEPAL のご報告です！

何からお話すればいいのやら、とにかく私たちは燃え尽きました。

ネパール写真展のメンバーをまず、ご紹介いたします。

リーダー！ 徳田

それに続く 紺野・田栗・谷本・山口ゆま、そして、わたくし、宮澤でございました。

それは確か、半年以上前、10月くらいだったかしら。

突如となく、

「行った先のアジアの国で写真展を開いてください。」

・・・

・・・・・・・・

・・・果てしない！！

入学2年目にして、写真展というものが未知！

そしてアジアの国なんてもっと未知！

ありえるのでしょうか！！

そんな中、このメンバーはインド・ネパール・中国という選択範囲に希望。

話し合いの結果、この中で最も未知なネパールで開催しようと決意！

それが私達・ねばねばネパール写真展班！

経験がなく、実感が無いものを進めていく作業はとても難しい。

そして、開催予定が半年以上と先となれば、何をどうして、どうやったらいいのやら。。

手探りの中、私達は、ネットで調べた限りの日本・ネパールが通じているサイトを検索。

と、同時にどういった写真展にするかも企画をたて始め

企画書作り。

五十嵐先生の授業内で更に細かい企画書に進んでいったのでした。

素敵すぎる、その通り！
アタイ、好きダヨ！そうゆうの！
私の想像は、軽井沢のロッジ。
そう、丸太ロッジで高床式！そして、森と霧にかこまれて、
BBQさえできちゃうんじゃないの？！みたいな安易なものだったけど
とんでもない。
バックには見晴らしの良すぎる山と谷の景色。
シルバニアファミリーのお家。
こんな場所で写真展して良いんですか！
といった感じで次回に続く。

カテゴリ：

post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.07.07 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#)